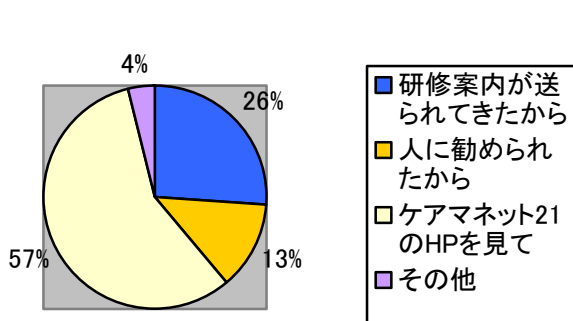


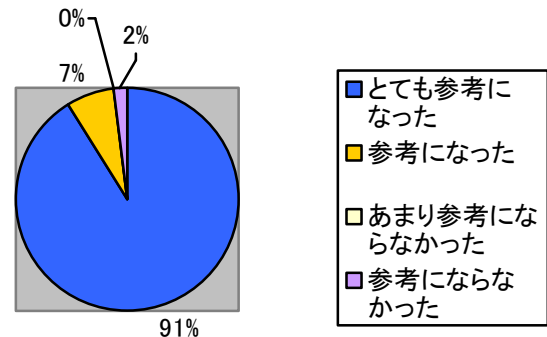
NPO 法人ケアマネット 21 スーパーバイザー養成講座  
一般社団法人日本ケアマネジメント学会共催研修会 アンケートの結果  
STEP3 「スーパービジョンの実際を体験する (1)」

【参加者】 ケアマネット 21 会員：46 名 認定ケアマネジャーの会会員：8 名  
日本ケアマネジメント学会員：1 名 その他：5 名 計 60 名  
アンケート回答者：46 名 回収率：76.7%

● 今回の研修参加について



● 講義内容の感想をお聞かせ下さい。



● 本日の研修（講義・演習）の感想をお聞かせ下さい。（自由記述）

- ・事例選定の際、興味だけで事例を選んでしまうと、解決の糸口が見つからず、スーパービジョンが出来る事例を選ぶことが重要だということ学んだ。
- ・手立てが引き出せる質問をし、バイザーとして要約力が必要であることを学んだ。
- ・地域性、本人の生活歴をアセスメントする力が必要だと感じた。
- ・毎回、「目からうろこ」である。
- ・違う視点の持ち方が勉強になった。
- ・バイザーとして、バイザーへの関り方や言い方が重要だと感じた。
- ・事例選定から間違っていた。つまり、スーパービジョンが何なのか、わかっていないことを痛感した。
- ・実践出来るようにはなりたいが、自分の能力の限界を感じる。スーパービジョンはとても難しい。
- ・事例の深め方が、質問の仕方により変わっていくことが再認識出来た。
- ・自分自身に、時代背景の知識がないと、事例を深められないことがわかった。
- ・グループワークでは、質問は出るが、核心にまでたどり着けなかった。
- ・ケアマネジャーのみの視点が、別の視点を加えていく中で、更に深まっていくことがわかった。
- ・分析、統合について考えさせられた。
- ・講師の読みの深さと展開には、毎回感動させられる。
- ・ろうあ者の支援は行ったことがなく、事例検討会を通し、支援の方法、考え方を学べた。

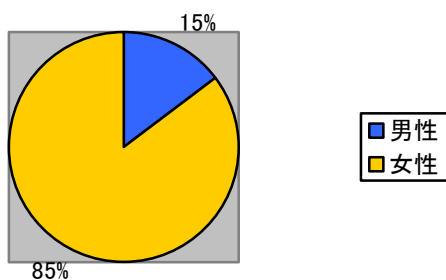
- ・盲ろう者を担当したことがあるが、もっと学ばなければと思った。
- ・グループスーパービジョンの進め方、質問の仕方の難しさを感じた。
- ・ファシリテーショングラフィックが上手く書けるようになりたい。
- ・多少の質問は少しわかるようにはなってきたが、具体的な見立て、手立ては難しく、不十分だと痛感した。
- ・現在までの生活歴や強みを知ること、より良い関係性も構築出来ると思った。
- ・どの部分に焦点を当てるのか？と考え、質問に力を注ぐことに気をとられ、事例の肝に気がつかない自分がいた。
- ・事例検討を行う中で、自分の質問力の貧しさを感じ、質問から事例が深まっていくのだと痛感した。
- ・これまでの検討会の中で、今回の研修はとても興味深く、勉強になった。
- ・今回の事例で、今後は障がい者の支援も行ってみたいと思った。

●今後、企画して欲しい研修内容や活動内容などがありましたらご自由にご記入下さい。

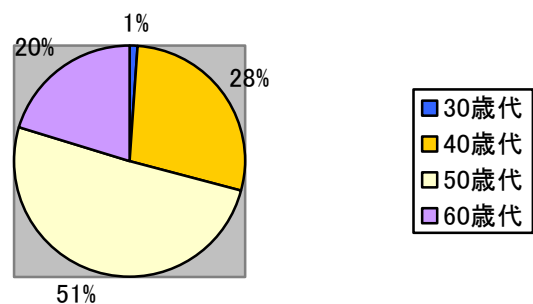
- ・逐語録の作成についての研修。
- ・主任ケアマネジャーの更新を目的とした研修。
- ・スーパービジョンの実践研修。
- ・スーパービジョンの演習の研修。
- ・指導事例と振り返り研修。
- ・事例検討会での見立てや手立ての部分をグループワークで学びたい。
- ・対人援助の為の心理学や方法論。
- ・学会発表支援塾。
- ・ターミナルの研修。

●アンケート回答者の属性について

【性別】

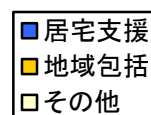
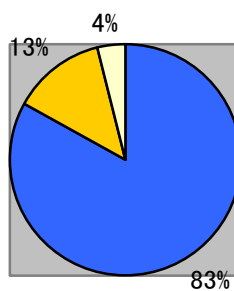
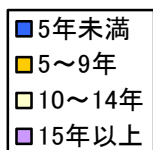
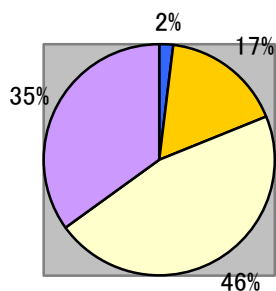


【年代別】



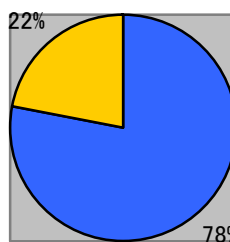
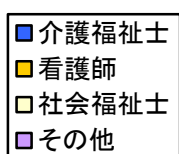
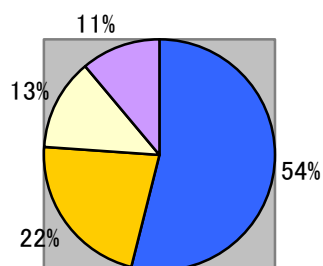
【ケアマネジャーとしての実務経験】

【所属について】

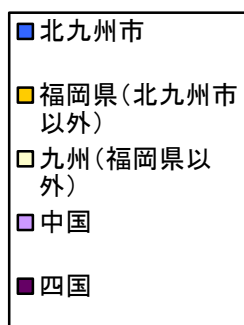
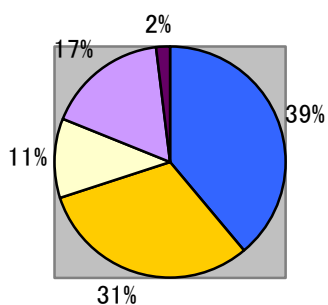


【前職は？】

【ケアマネット 21 の会員ですか？】



【どちらからお越しですか？】



以上

皆様、アンケートへの回答、ご協力ありがとうございました。  
今後の活動の参考にさせていただきます。